

5. 地域に根ざした情報・コミュニケーション支援活動 ～聴覚障がい者と共に、くらしを見つめて30年～

新潟市手話サークル連絡協議会

会長 田村雅子

①活動の目的

昭和57年、新潟市ろうあ協会の要請もあって、新潟市手話サークル連絡協議会（略称：市サ連）が発足しました。当時は、ろう者の大切なことばである手話の社会的認知も浅く、街中で手話を使うこともまだまだ奇異な目で見られた時代でした。

地域で共に暮らすろう者の方々にとって、手話の普及や、市民への聴覚障がい者理解への啓発、更には暮らしの中のコミュニケーションの橋渡しをする手話通訳者が育つことは、大きな願いでした。

市サ連発足当時の手話サークルは市内で7つ、ほとんどが地域に芽生えた発足間もない“ひよっこサークル”でした。手話サークル間の連絡・協調を図りながら、共に暮らせる社会を目指して、交流と仲間づくりを大切にしたい、ろうあ協会との「車の両輪」の活動がここから始まりました。

以来30年間にわたり、時代に即した手話サークルの在り方を模索しながら、行政や関連団体と連携し、コミュニケーション支援団体として活動を続けています。

②活動概要

手話サークルは、当初から聴覚障がい者と地域を結ぶ「架け橋」として、手話学習や交流を中心とした活動を続けてきました。ろうあ協会と共催で開いた“手話で触れ合う友の集い”は15年間続き、多くの仲間の出会いと学びの場となりました。その後平成10年からは、“手話フェスティバル”と名称を変更し、ろうあ協会・市サ連だけでなく、中途失聴・難聴者協会など関連団体に輪を拡げ、更に多くの市民の参加を呼びかけて現在に至っています。

また、新潟市の手話奉仕員養成・派遣事業に長年協力しており、聴こえない方々のくらしを守る、情報・コミュニケーション支援者として活動する手話奉仕員も年々増えてきています。手話奉仕員の通訳活動は、講演会、講座、大会、教育、医療、就労、冠婚葬祭、文化活動などくらしの隅々に渡っています。

市サ連の独自事業としては、学習情報交換会と講演会を毎年1回ずつ開催していますが、以下に、2つの事業の主旨と近年の主なテーマ、22年度の取り組みを紹介します。

<主旨と近年の主なテーマ>

学習情報交換会 → 聴覚障がい者が地域で安心して暮らせるためのネットワークづくりを目的とする（緊急時、災害時のネットワーク対策など）。

テーマは、「防災訓練」「中越地震体験者と語ろう」「災害時要援護者申請登録制度・防災メールについて学ぼう」「支えあいの地域づくりの実践から学ぶ」「被爆64周年広島平和記念式典の“平和の誓い”を手話で学ぼう」など

講演会 → コミュニケーション支援団体として、時代に即した手話サークルの在り方や手話奉仕員の資質を高めるための学びを目的とする。

テーマは、「手話サークルに期待するもの」「手話サークルの役割は？～ノーマライゼーションの視点で考えよう」「私が目指す薬剤師像」「共に生きる社会を作るために」「市民のためのかんたん法律教室」など

<22年度の取り組み>

平成22年度学習情報交換会は、地域コミュニティの希薄化に伴い、高齢者や障がい者等を狙った犯罪や、ハイテク犯罪が横行する現在、聴覚障がい者や健聴者が犯罪被害者にならないための勉強会を行いました。

講師は新潟市役所コミュニティ支援課・安心安全室の担当者（警察OB）で、盗難や空き巣、振り込め詐欺などの実態や、防犯のための心得などお話いただきました。その後、参加者をグループに分け、日々の生活の中で起こった不審なセールスや勧誘、架空請求等の事例を上げ、その対処方法や今後の防犯方法について話し合いました。

「自分の安全は自分で守る」「地域の安全は地域で守る」ということを改めて考えさせられた有意義な内容でした。参加者は90人でした。



↑ 警察OBの講師



↑ 熱心なグループ討議

平成22年度講演会は、新法「障害者福祉法（仮称）」の進捗状況等について、手話通訳士として行政職員として長年に渡り福祉の専門分野でご活躍の相川浩一様（東京都東久留米市）より、「聴覚障がい者の暮らしを見つめて～障害者福祉法（仮称）に望むもの」というテーマでご講演いただきました。

講師は手話との出会いや人との出会いをユーモアを交えてお話くださった後、障害者福祉施策の見直しを巡る「障がい者制度改革推進会議」についてなど、国の動向を幅広くお話くださいました。参加者は100人を超え、良い学びの場となりました。



↑ 講師と主催者



↑ 講演会講師



↑ 講演会場の様子



↑ 情報保障
(手話通訳とパソコン要約)

③決算報告書

収 入 大同生命厚生事業団助成金	100,000-
支 出	
学習情報交換会代金(平成22年10月16日)	
(内訳)	
・会場費(新潟市総合福祉会館借用)	0-
・講師謝礼(交通費, 謝礼金講師のご好意により受けとられませんでした。)	0-
・コピー用紙(A4用紙)	2,500-
・文房具類	3,000-
・印刷費	5,000-
・事務連絡費	8,000-
・実行委員会会議費	5,000-
講演会代金(平成23年2月12日)	
(内訳)	
・会場費(新潟市総合福祉会館借用)	0-
・講師謝礼(交通費東京⇔新潟, 謝礼金)	55,000-
・コピー用紙(A4用紙)	2,500-
・印刷費	2,500-
・事務連絡費	8,000-
・実行委員会会議費	7,000-
・郵送費, 切手代	1,500-
支出合計	100,000-